

中国新聞 平成27年3月4日

## 真剣 ジュニア防災検定

### 広島の戸山小・中 学校挙げ受検

広島市安佐南区の市立戸山中1、2年生と同戸山小5年生の計56人が3日、災害から身を守る知識を試す「ジュニア防災検定」の筆記試験に挑んだ。土砂災害や河川の氾濫など地元で起こりうる災害に備えた防災教育の一環。

学校ぐるみの受検は中国地方で初めて。検定は初・中・上級があり、学年ごとに対象の試験を受けた。緊急地震速報を聞いた時の行動、津波てんでんこの意味、土砂災害の予兆…。生徒たちは幅広い内容を問う記述や選択式の問題を真剣な表情で解いた。

事前のリポートと、防災マップ作りなど試験後の自由研究と併せて評価され、合否が決まる。1年上田真鈴さん(12)は「しっかり答えることができた。災害はいつ起こるか分からないので、学んだ知識を生かして備えたい」と話していた。

同検定は子どもたちも犠牲になった東日本大震災を教訓に防災検定協会(東京)が2013年から始めた。14年度は全国で約5千人が受検した。

(久保田剛)